

クリーンセンター建設・地産地消の推進について

津山誠心会議 津本辰己



質問↓焼却炉の機種によって、建設費・維持管理費が大きく左右されるが、選定についてどう考えているのか。

答弁↓内部で検討精査を十分行うとともに、学識経験者、弁護士など第三者で

構成する技術審査委員会を設け、合理的、客観的に検討・評価できる仕組みを作っていく。

質問↓学校給食・大型小売店で、地場産食材の積極的な利用、販売を促すため、「食料安全都市宣言」をし、「地産地消を推進する条例」の制定をしてはどうか。

答弁↓生産者・消費者・小売店・市が役割分担を認識し、連携と協力を円滑に進め、「津山市食育推進計画」を確実に取り組むためにも、地産地消は欠かせない。必要なら、将来的に条例制定も検討していきたい。

「やっせ」

市民と歩む会 河本英敏



質問↓昨年十二月に示された入札・契約制度改定及び合併特例の廃止に関する基本方針を大いに評価する、この方針に間違いはないか。

答弁↓①一般競争入札の適用を二千万円

(税抜き予定価格)以上の工事事案件すべてに拡大、参加対象業者が概ね二十社以上になるよう条件設定とする。

②指名競争入札における地域区分を見直し、指名業者数が概ね十社以上とする。③合併特例は廃止し、新津山市として統一する。④適用時期は、平成二十年七月からという基本方針をすでに業者にも通知し、最終の作業中。

質問↓副市長は、契約に関し最高責任者です。ご決意をお聞かせください。

答弁↓市民の皆様信頼される公平、公正な制度になるよう努める。

苛政は虎よりも猛し

津山新星会議 吉田耕造



質問↓目的税である「都市計画税」は、どの地域に賦課され、どのような事業に充当されているのか。

答弁↓都市計画区域内の用途地域に賦課されている。都市計画事業や土地区画

整理事業に充当される目的税である。街路事業や旧市内の下水道事業に充当している。

質問↓新公会計制度導入の考え方、今後のスケジュール等はどのようにしているのか。

答弁↓発生主義の活用と複式簿記の考え方を導入することにより、資産・債務の情報公開と適正な管理を一層進めると共に、未利用財産の売却促進や有効活用を目的とするものである。二十年度決算から、津山市単体及び第三セクター等を包括した連結ベースで整備し、開示する。

雇用改善対策と産業振興

みどりの会 野村昌平



質問↓津山職安管内の有効求人倍率は〇・七八と県下最悪になっているが、その要因と雇用改善対策は。

答弁↓津山圏域、美作地方は建設業などの中小企業が多く、また、県南からの

求人が反映できないこともある。対策としては、企業誘致をさらに推し進めるが、今より好条件の優遇措置も必要と考えている。そして、地場企業の育成強化のため、産官学の連携を進め、人材育成を図る。

質問↓新産業創出機構の成果及び製造品出荷額の今年度目標値達成は。

答弁↓例えば機構の「ステンレスネット八社」では、この四年間で売上高一・七倍、従業員数一・六倍に伸びた。ただ、製造品出荷額全体は、原油価格や原材料高の影響もあり、二百億円の目標達成は厳しい状況である。